

# 製品名 クレイジースモール AirOneFT S/N: A1FT

製品番号 CZSMAIRONE

開発製造 cooyou.org ホームページ <https://cooyou.org/aironeft>

お問い合わせ先 [admininfo@cooyou.org](mailto:admininfo@cooyou.org)

## 仕様

インターフェース	マイクロUSB USBバスパワーで動作
動作OS	Windows,macOS,Linux,Android,iOS 標準ドライバで動作 スマートフォンやタブレットはUSB ホスト機能とOTGケーブルが必要です。iOS機はセルフパ ワーハブが必要かもしれません。
ボタン	側面 A,B,C (USB近くからA、中央B、離れたC)
プリセット	A,B,Cの3つ。各ボタンで切り替え。 それぞれ感度、キー出力モードを設定可能 プリセットごとに最大3つのキー登録 初期値は以下(左,右,上,下順)： プリセットA* Enter プリセットB スペース プリセットC マウス左
設定項目	OS (*Windows,macOS) *が初期値 感度 (*低感度、中感度、高感度) キー出力モード (*押し続け、瞬間、連続) 連続時の時間間隔 (*低速、中速、高速) オールリセット
登録キー	日本語キーボードのキー、マウスクリック
センサー	円形リング内。レーザークラス1
ケース色	ABS樹脂 黒
幅.奥行.高さ 重さ	38x46x18mm 20g
付属品	取扱説明書 *USBデータケーブルは付属しません
保証期間	6ヵ月

本体は主にプラスチック素材で出来ておりますので、体重をかけたり強い力で操作すると破損の恐れがあります。保証外となりますのでご注意ください。

## 電源

接続先機器が起動状態で、本機にUSBケーブルを接続するとON,抜くとOFFとなります。充電専用ケーブルでは動作しませんのでご注意ください。

iOS機はバスパワーで動作しない可能性があります。セルフパワーハブが必要かもしれません。スマホやタブレットはOTGケーブル経由で接続します。



## 通常の使用方法

電源ONの後でセンサー上空に手をかざすと、キーボード(またはマウスクリック)出力されます。A,B,Cの各ボタンを押すことでプリセットを選択できます。選択は記憶されますので、次回以降は側面ボタンを押す必要はありません。

反応範囲は上空約3cmから1m程度です。面積や素材にもよります。

足や服や物でも反応します。高速に横切ると反応しない場合があります。

一般的な70cm高の机下の床にセンサーを上面にして置いて足先でセンサー上空を横切ることによってフットボタンとしても動作させることができます。その場合は感度設定を低感度または中感度にします。

センシング間隔は使用状況に合わせてリアルタイムで調整されます。最短で0.1秒程度、最長で1秒程度に長くなります。

完全に電源をOFFするにはUSBケーブルを抜いてください。

## OS設定

macOSでご利用の場合は、AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

macOSの場合は、もう一度AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

OSの画面上に設定画面が出ます。左シフトキー横の入力画面では、Aボタン、右シフトキー横の入力画面ではBボタンを押すと認識されます。

その後、電源OFFします。

Windowsでご利用の場合は、Bボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。電源OFFします。設定は記憶されます。(Windows用が初期設定のため、通常は設定不要です)

### 感度（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

BボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。  
Aボタンを押すと低感度、Bボタンを押すと中感度、Cボタンを押すと高感度です。どちらかを押しします。  
その後、電源OFFします。設定は記憶されます。  
机下の床に置く場合は低感度または中感度にします。

### キー出力モード（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

AボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。  
Aボタンを押すと「押し続け」モード、Bボタンを押すと「瞬間」モード、Cボタンを押すと「連続」モードとなります。  
どれかを押しして下さい。設定は記憶されます。  
「連続」を選択した場合は時間間隔を設定します。  
Aボタンを押すと低速、Bボタンを押すと中速、Cボタンを押すと高速となります。どれかを押しして下さい。  
その後電源OFFします。設定は記憶されます。

以下ではキー押下（プレス） キー離す（リリース）と表記します。  
3つのキーが登録されているものとして説明します。登録が無い場合は処理をスキップします。

#### 「押し続け」

センサー範囲に入ると、1プレス、2プレス、3プレス  
センサー範囲から出ると、3リリース、2リリース、1リリース  
となります。

#### 「瞬間」

センサー範囲に入ると、  
1プレス、2プレス、3プレス、3リリース、2リリース、1リリース  
となります。センサー範囲から出た時は何も行われません。

#### 「連続」

センサー範囲に入ると、  
1プレス、1リリース、2プレス、2リリース、3プレス、3リリース  
となります。センサー範囲から出た時は何も行われません。  
プレスとリリース間に短い時間間隔、リリースとプレス間には長い時間間隔が入ります。

※macOSの場合、OSの仕様上、別のキーボードと跨いだ連携の制約があります。  
単体ではCommand+Cのような動作は可能ですが、Command押下を本機で出力後、他キーボードでCを合成するということが標準では出来ません。  
サポート外ですが、Karabinerソフトの導入をご検討ください。

### 登録キー（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

次ページのキーボード図の番号を登録できます。  
基本的にはWindows用となりますが、macOS設定の場合は青字の変更が相当します。0番は登録なしとなり、113,114,115はマウスクリック用です。  
番号をキーボード出力して確認しながら設定しますので、OSの画面でメモ帳などのエディタを開いてください。英数字を直接入力できるようにしてください。

Aボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。  
すると、現在の番号が出力されます。  
例えば、A,L,1 100 のように出力されます。プリセットAの1番目のキー登録に100番（スペースキーに相当）が設定されてます。という意味です。

（プリセットAまたはBまたはC）, L, （1または2または3番目） （登録番号）

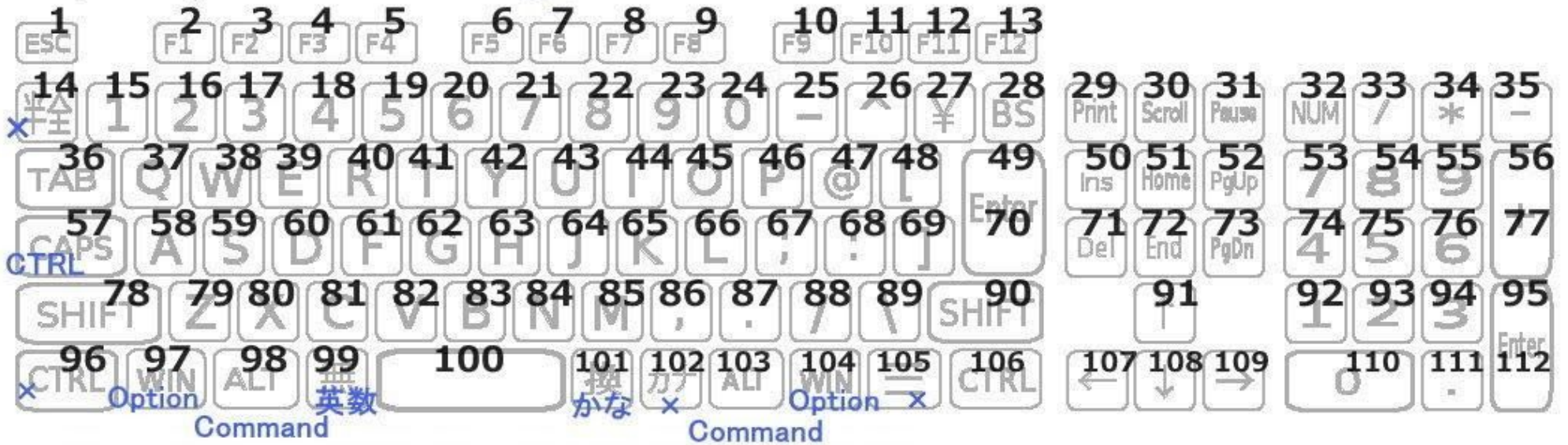
Aボタンを押すごとに登録番号が+10されます。Bボタンを押すごとに1の位が+1されます。押すごとに情報が出力されます。最大値を超えると桁が0に戻ります。  
（変更しない場合はA,Bボタンを押す必要はありません）  
登録番号はボタンを押した時点で変更が記憶されます。  
電源はいつでもOFFにできます。  
登録番号が決まったら、次にCボタンを押すと2番目のキーの登録が出来ます。同様に、A、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと3番目のキー登録ができます。A、Bボタンで番号を決定します。  
途中で電源はいつでもOFFにできます。  
3番目まで登録されると次はなにも設定しません。電源OFFしてください。

### オールリセット

出荷時の設定に戻すことができます。  
A、B、Cの全てのボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。  
オールリセットされたので、電源OFFします。

0 (None)

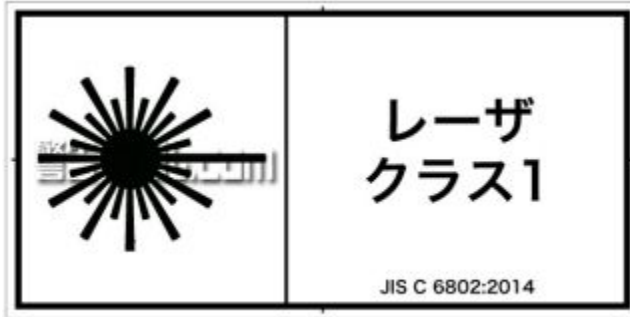
macOS — 青字



Mouse Button : 113 (Left) 114 (Right) 115(Middle)

- A  Preset A Enter(49)
- B  Preset B Space(100)
- C  Preset C Mouse Left(113)





14LA104C1MJ-1